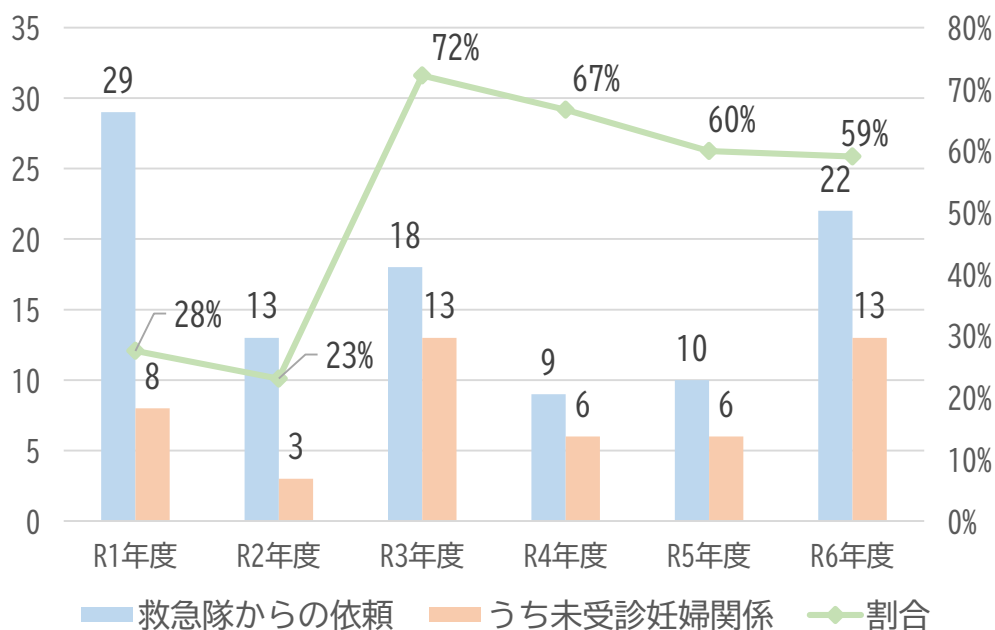


未受診妊婦早期介入体制の 構築について

1. 現状

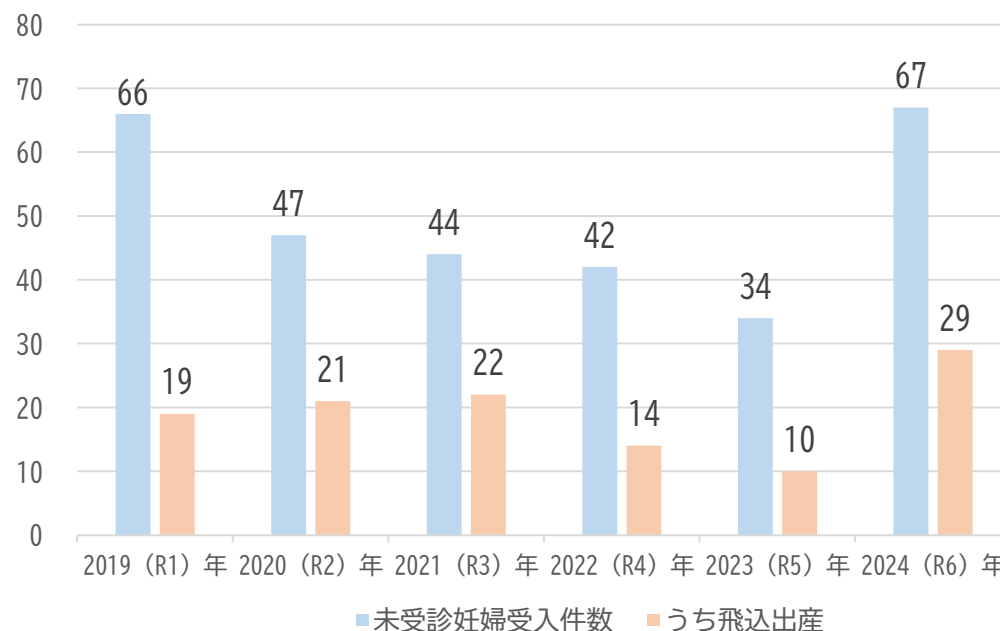
- 令和6年度宮城県周産期救急搬送コーディネーターへの救急隊（119通報）からの搬送調整依頼のうち妊婦健康診査未受診である妊産婦（未受診妊婦）からの通報は、約6割を占める
- 分娩取扱施設における未受診妊婦の受入れ件数は、年間40件から60件台で推移し、そのうち飛込出産となる件数は、年間20件程度発生している
- また、その件数は、令和元年から令和5年にかけて減少傾向にあったが、令和6年は未受診妊婦受入れ件数、飛込出産件数ともに増加
- 未受診妊婦は、妊娠経過に関する情報が少なく、出産時の母体及び新生児の安全が確保しにくいことから、医学的にも社会的にもハイリスクである場合が多い

宮城県周産期救急搬送コーディネーター事業統計



出典：宮城県周産期救急搬送コーディネーター事業

未受診飛込出産妊婦受入数



出典：宮城県周産期医療機能調査

2. 早期介入体制の構築

周産期救急搬送コーディネーター事業を活用し、早期介入体制を構築



東北大学
TOHOKU UNIVERSITY

- ✓ 当院⇄行政間の未受診ホットラインの整備
- ✓ 関係各所へ未受診対応フローチャートを送付
※1
- ✓ 連絡先を当院へ一本化
※2
- ✓ 対応の集約化を図る

宮城県全体で未受診妊婦対策に取り組む

※1分娩取扱施設、母子保健担当（宮城県子育て社会推進課、保健所、市町村）、
児童福祉担当（宮城県子ども家庭支援課、宮城県子ども総合センター、児童相談所）

※2仙台・仙南医療圏は、東北大学病院、大崎・栗原医療圏は、大崎市民病院、石巻・登米・気仙沼医療圏は、石巻赤十字病院・気仙沼市立病院に集約

3. （参考）相談窓口

助産師による妊産婦電話相談事業

出産等に不安を抱える県内の妊産婦の方々の電話相談窓口

助産師が、妊娠・出産・育児等に不安や悩みを抱える妊産婦の相談に応じます。

○対象者 出産等に不安を抱える県内の妊産婦

○電話番号 090-1060-2232

○相談日時 毎週月・水・金曜日 午後1時から午後7時まで（祝休日, 年末年始を除く）